

5月の園だより



令和3年 4月28日 城東保育園

新緑がまぶしい季節になりました。それと同時に新しい環境に慣れてきた子どもたちの笑顔もまぶしく輝いています。0歳児のまだお話ができない子が、目が合い「〇〇ちゃん！」と声をかけると“ニコっ”と笑顔で返してくれます。散歩に出かけた4,5歳児の子どもたちは帰ってくると「ねえ、見て見て！」と、とびきりの笑顔で取ってきた花や虫などを見せてくれます。そんな子どもたちの表情を受け止め、さらに安心して楽しく過ごせるよう見守っていきたいと思います。



“自分でできるでしょ！” “もう〇歳なんだからひとりでやらなきゃダメ”

こんな言葉が口ぐせになっていませんか？子どもの「お母さん、やって！」「できない…」の言葉に対して、忙しさからつい、言ってしまうことはありませんか？仕事から帰ってきたお母さんは、家でもやることがたくさんあり、次はあれ、その次はこれをやらなきゃ…と休む暇がありません。そんな時、普段は自分でできていることを「やって」と言ってくる子どもに対して、甘えてやらないのでは、忙しいし自分でやらせなくては、と思ってしまうのも仕方ありません。しかし子どもたちも日中、保育園で頑張っているからこそお家では甘えたい、お母さんにやってほしいと思っています。「自分でやりなさい」ではなく、ちょっと家事の手を休めて「一緒にやろうか」と言うてみてはどうでしょうか？この一言とほんの少し手を貸しただけで子どもはとても嬉しく満足します。何歳になっても“ひとりでやらなくてはいけない”というルールはありません。子どもたちの「やって」の声に、耳を傾け受け止めてみてください。



手洗い・うがいを忘れずに！

新年度からの緊張がゆるみ、体調を崩しやすい時期です。コロナ感染も全国的にまだまだ治まらない状況なので、体調管理には十分気を付けていきたいですね。

コロナの感染予防のために、アルコール等の手指消毒は習慣となっていますが、手洗い・うがいもとても大切です。保育園では外で遊んだ後、トイレの後、給食の前には石けんを使って手を洗い、随時うがいも行っています。お家でも帰宅後、遊んだ後などは石鹸を使った手洗いとうがいを忘れず行うようにしましょう！

《手の洗い方》

- 1 石鹸を泡立てる
- 2 手のひら→手の甲→指の間→指先→手首の順で洗う
- 3 水で洗い流し
きれいなタオルで拭く



いのちの大切さ

戸外で遊んでいた3歳児のK君と5歳児のS君。ほかにもまわりには4,5人の友達がいる中で、カエルを見つけ捕まえたK君。カエルが逃げてしまっは大変！と玩具の隅の空間にカエルを入れました。それからK君は「逃げないように、ここに（隙間）草を詰めよう！そうすれば逃げないね。」と隙間から逃げてしまわないように、草を取って隙間に詰め始めました。5歳児のS君も最初は一緒に、草を詰めていましたが、しばらくするとS君は手を止めてK君に「こうしちゃうとカエルが出られなくなって、おうちに帰れないよ。かわいそうだよ。」と言って、詰めてあった草を取り除き始めました。草を取りながらS君は「死んじゃったら、かわいそうだね。」とさらにつぶやき、そのS君の言葉を聞いてK君も「うん」とうなづき、草を取り除きました。子ども同士のやり取りの中で“いのちの大切さ”を話題にし、5歳児が3歳児に教えている場面を見て、心が温かくなりました。



